



上場会社名 株式会社モブキャストホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3664 URL <https://mobcast.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪 考樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐武 利治 (TEL) 03-5414-6830
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	3,625	166.5	△72	—	△112	—	△199	—
29年12月期第2四半期	1,360	△17.0	△475	—	△499	—	△478	—

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 △204百万円(—%) 29年12月期第2四半期 △483百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	△11.52	—
29年12月期第2四半期	△29.72	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	5,243	1,502	28.4
29年12月期	3,050	1,640	53.3

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 1,489百万円 29年12月期 1,625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

当社グループ(当社及び連結子会社)が属する業界は、事業環境の変化が激しく、かつ、新規タイトルについての不確実性が高いことから、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努めるものの、連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年12月期 2 Q	17,422,708株	29年12月期	17,318,008株
② 期末自己株式数	30年12月期 2 Q	ー株	29年12月期	ー株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年12月期 2 Q	17,341,165株	29年12月期 2 Q	16,096,715株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は、平成30年2月27日に株式会社トムスを新たに取得し、連結の範囲に含めております。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明資料は、TDnetで同日開示しております。また、当社は、平成30年8月9日 (木) に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当平成30年第2四半期連結会計期間において当社は、平成30年4月1日を効力発生日として純粋持株会社体制へと移行し、併せて株式会社モブキャストから株式会社モブキャストホールディングスへと商号を変更しました。また、持株会社体制への移行にあたり、旧モブキャストの主力事業であったゲーム事業については、新たに設立した株式会社モブキャストゲームスへ移管し、4月より本格的に営業を開始しております。さらに、平成30年2月に取得した株式会社トムスについては、これまで同社が築いてきたトムスブランドを活かし海外及びネット販売等の販路の強化、商品アイテムの増加等の施策を行っており、順調に進んでおります。

なお、トムスにつきましては、当第2四半期連結累計期間から連結対象とし、新たな報告セグメント「モータースポーツ事業」として記載しております。

モバイルゲーム事業

モバイルゲーム事業については、国内外の有力デベロッパーとの共同開発プロジェクトの推進とそれに伴う新規タイトルの共同開発、自社開発タイトルの開発及び運営強化に取り組みました。

海外パートナーとの共同開発プロジェクトの推進につきましては、かねてより進めていた中国Capstone社との2作目のサッカーゲームタイトル「モバサカULTIMATE FOOTBALL CLUB」の日本、韓国での平成30年夏頃の配信を決定し、また、中国においては中国大手パブリッシャーであるテンセント社のプラットフォームでの2018年下期の配信が確定する等、配信開始に向け進展しております。また、韓国ネプチューン社との共同開発タイトル「劇的采配!プロ野球リバーサル」及び「ナナカゲ〜七つの王国と月影の傭兵団〜」の国内版の開発、さらには「幽☆遊☆白書」の国内版並びに中韓及び東南アジア版それぞれの開発につきましても順調に進んでおります。

既存タイトルの運営強化につきましては、平成30年2月に配信を開始した「キングダム乱-天下統一への道-」において、人気武将の限定ガチャの発売を行う等、各ゲームタイトルで売上の増加施策とゲームの活性化を図っております。

これらの取組みにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,033,732千円となりました。一方で、広告宣伝費278,767千円の投下及び売上増加に伴うロイヤリティの増加等により、営業損失は48,308千円となりました。

モータースポーツ事業

モータースポーツ事業につきましては、年間スポンサー契約獲得による広告売上の増加とレース参戦による自動車用品関連に係る最新技術の維持ため、国内の主要な自動車レースに参戦しております。また、自動車レースでの上位入賞がもたらすトムスのプレゼンス維持向上により、トムスブランドの自動車パーツの品質をアピールし自動車用品の売上増加を目指すとともに、海外販売及びネット販売等による販路拡大と商品アイテムの増加等の売上増加施策を行っております。

広告売上につきましては、広告スポンサー獲得のためSUPER GT、SUPER FORMULA（全日本スーパーフォーミュラ選手権）、JAPANESE F3 CHAMPIONSHIP（全日本F3選手権）にそれぞれ参戦し、JAPANESE F3 CHAMPIONSHIPで1位、2位を維持する等、同社のプレゼンス維持に努めております。また、自動車用品売上につきましては、新規に販路開拓した中国での海外売上の増加及び全国販売店での週末イベントの増加等の販売促進活動を実施し、当第2四半期連結会計期間において売上高590,735千円、営業利益は94,278千円となりました。

※純粋持株会社体制移行前である平成30年第1四半期連結会計期間の旧株式会社モブキャスト（現 株式会社モブキャストホールディングス）の売上、利益につきましては、当該期間における旧モブキャストの主力事業がモバイルゲーム事業であることから、モバイルゲーム事業セグメントに含めております。

以上の結果により、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同四半期より166.5%増の3,625,937千円、営業損失は72,926千円（前年同四半期は営業損失475,681千円）となりました。

さらに、営業外収益として経費見直しのための保険解約による「保険解約返戻金」2,277千円等、営業外費用として「為替差損」19,036千円、「持分法による投資損失」14,940千円等を計上したことにより、経常損失は112,393千円（前年同四半期は経常損失499,576千円）、また、トムスのリース終了後のエンジン売却による「固定資産処分益」9,799千円、ソフトウェアの除却による「固定資産除却損」4,425千円により、税金等調整前四半

期純損失は107,019千円(前年同四半期は税金等調整前四半期純損失477,601千円)、四半期純損失は201,964千円(前年同四半期は四半期純損失478,757千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は199,862千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失は478,371千円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より2,192,716千円増加し、5,243,139千円となりました。主な内訳は株式会社トムス取得に起因して「受取手形及び売掛金」が589,666千円、「建物及び構築物」が272,996千円、「土地」が511,000千円、「のれん」が166,851千円、「商品及び製品」が143,161千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より2,331,170千円増加し、3,740,728千円となりました。主な内訳は株式会社トムス取得に起因して「支払手形及び買掛金」が199,870千円、「社債(1年内償還予定の社債を含む)」が175,000千円、「長期借入金(1年内返済予定を含む)」が1,049,153千円、「未払金」が458,192千円、増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末より138,454千円減少し、1,502,410千円となりました。主な内訳は「資本金」が33,184千円、「資本剰余金」が33,184千円増加し、「利益剰余金」が202,862千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する説明

当社グループはこれまで培ってきた「モバイルインターネット領域におけるサービス開発および運営ノウハウ」を提供する事で、グローバルでの事業成長を実現し、日本のエンターテインメント業界を革新させ、さらなる発展に貢献する事を重要な戦略と位置付けています。

当社グループの主力事業であるゲーム事業につきましては、グローバルアライアンス戦略に基づく国内外の共同開発パートナーとの新作タイトルの開発推進と運営強化、及び自社開発タイトルの開発及び運営強化に取り組んでまいります。国内外の共同開発パートナーとの新作タイトルの開発推進につきましては、これまで構築してきた国内外のネットワークを基盤として、パートナー企業との国内有力IPを用いた新規タイトルの開発及び配信を進めており、「モバサカULTIMATE FOOTBALL CLUB」の配信を平成30年夏に予定している他、「劇的采配!プロ野球リバーサル」、「ナナカゲ〜七つの王国と月影の傭兵団〜」、及び「幽☆遊☆白書」の配信に向けた準備等を行っております。また、自社開発タイトルの「Project LIP」につきましては2019年の配信開始に向け開発を進めております。

平成30年2月27日に取得した株式会社トムスにつきましては、国内レースでの勝利実績と、当社グループが持つITテクノロジーやマーケティングノウハウを活用し、同社のブランド価値を最大化し自動車用品事業のグローバルでの事業拡大を目指します。

以上を踏まえた当期の売上高及び利益予想に関しましては、当社グループの主力事業であるゲーム事業が属する市場が、事業環境の変化が激しく、かつ、新規タイトルについての不確実性が高いことから適正かつ合理的な数値の算出が困難であること、また、トムスの当社グループへの編入による売上・利益の増加幅等が不確定であることから、四半期毎に実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努めるものの、業績予想については開示しない方針です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、株式会社トムスの株式を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。

なお、当該連結の範囲の変更は、当四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与えることは確実であり、連結貸借対照表の総資産額等が増加するものと認識しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,163,606	926,627
受取手形及び売掛金	806,789	1,396,455
商品及び製品	—	143,161
仕掛品	—	34,268
原材料及び貯蔵品	—	90,414
その他	254,355	508,399
貸倒引当金	△83	△1,900
流動資産合計	2,224,668	3,097,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,505	547,894
減価償却累計額	△22,884	△261,276
建物及び構築物(純額)	13,621	286,618
車両運搬具	—	386,395
減価償却累計額	—	△327,492
車両運搬具(純額)	—	58,902
工具、器具及び備品	80,405	355,868
減価償却累計額	△61,398	△310,512
工具、器具及び備品(純額)	19,006	45,356
土地	—	511,000
その他	—	206,914
減価償却累計額	—	△148,971
その他(純額)	—	57,943
有形固定資産合計	32,628	959,820
無形固定資産		
ソフトウェア	217,430	220,737
ソフトウェア仮勘定	288,947	257,681
のれん	—	166,851
その他	5,167	14,613
無形固定資産合計	511,545	659,884
投資その他の資産		
投資有価証券	175,807	160,560
その他	112,073	371,748
貸倒引当金	△6,300	△6,300
投資その他の資産合計	281,580	526,009
固定資産合計	825,755	2,145,714
資産合計	3,050,423	5,243,139

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	—	199,870
短期借入金	333,334	350,004
1年内償還予定の社債	—	34,000
1年内返済予定の長期借入金	244,758	392,988
未払金	673,288	1,131,480
未払法人税等	8,119	19,863
その他	96,587	416,922
流動負債合計	1,356,087	2,545,129
固定負債		
長期借入金	53,380	954,303
社債	—	141,000
退職給付に係る負債	—	54,787
その他	90	45,509
固定負債合計	53,470	1,195,599
負債合計	1,409,558	3,740,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,171,757	2,204,942
資本剰余金	790,303	823,488
利益剰余金	△1,348,425	△1,548,288
株主資本合計	1,613,635	1,480,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	205	220
為替換算調整勘定	11,452	8,913
その他の包括利益累計額合計	11,657	9,134
新株予約権	4,332	3,996
非支配株主持分	11,239	9,137
純資産合計	1,640,865	1,502,410
負債純資産合計	3,050,423	5,243,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,360,806	3,625,937
売上原価	1,223,065	2,195,559
売上総利益	137,740	1,430,378
販売費及び一般管理費	613,422	1,503,305
営業損失(△)	△475,681	△72,926
営業外収益		
受取利息	39	340
受取配当金	—	893
還付加算金	—	985
受取賃貸料	—	777
保険解約返戻金	—	2,277
消費税差額	1,212	375
撤退事業関連収益	601	—
その他	53	1,993
営業外収益合計	1,907	7,643
営業外費用		
支払利息	4,154	7,061
為替差損	5,715	19,036
株式交付費	86	231
投資事業組合運用損	774	5,271
持分法による投資損失	13,358	14,940
その他	1,712	568
営業外費用合計	25,802	47,110
経常損失(△)	△499,576	△112,393
特別利益		
固定資産売却益	—	9,799
新株予約権戻入益	24,975	—
特別利益合計	24,975	9,799
特別損失		
固定資産除却損	—	4,425
役員退職慰労金	3,000	—
特別損失合計	3,000	4,425
税金等調整前四半期純損失(△)	△477,601	△107,019
法人税、住民税及び事業税	1,156	50,117
法人税等調整額	—	44,827
法人税等合計	1,156	94,945
四半期純損失(△)	△478,757	△201,964
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△386	△2,101
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△478,371	△199,862

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△478,757	△201,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	605	14
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,087	△2,538
その他の包括利益合計	△4,481	△2,523
四半期包括利益	△483,239	△204,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△482,853	△202,386
非支配株主に係る四半期包括利益	△386	△2,101

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△477,601	△107,019
減価償却費	204,037	157,704
のれん償却額	—	4,278
保険解約返戻金	—	△2,277
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△9,799
固定資産除却損	—	4,425
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△43,763	△41
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△8,819
受取利息及び受取配当金	△39	△1,234
支払利息	4,154	7,061
投資事業組合運用損益(△は益)	774	5,271
持分法による投資損益(△は益)	13,358	14,940
新株予約権戻入益	△24,975	—
為替差損益(△は益)	△806	△1
売上債権の増減額(△は増加)	123,645	△279,853
前受金の増減額(△は減少)	6,540	△119,609
前払費用の増減額(△は増加)	△195,743	△203,214
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△73,782	443,355
未払又は未収消費税等の増減額	△71,179	134,010
その他	△12,643	△423,974
小計	△548,024	△384,795
利息及び配当金の受取額	39	1,234
利息の支払額	△4,435	△7,005
法人税等の支払額	△2,265	△42,672
営業活動によるキャッシュ・フロー	△554,686	△433,239
投資活動によるキャッシュ・フロー		
担保預金の払戻による収入	—	83,332
有形固定資産の取得による支出	△224	△19,820
有形固定資産の売却による収入	—	9,800
有形固定資産の除却による支出	—	△225
無形固定資産の取得による支出	△295,927	△114,988
短期貸付けによる支出	—	△15,000
長期貸付金の回収による収入	—	146
保険積立金の解約による収入	—	58,093
投資有価証券の取得による支出	△2,100	△5,000
投資有価証券の売却による収入	—	153
出資金の払込による支出	△35,672	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	421,054
投資活動によるキャッシュ・フロー	△333,924	417,545
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	83,338	△63,330
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△266,170	△222,693
社債の償還による支出	△50,100	△17,000
株式の発行による収入	1,333	66,034
非支配株主からの払込みによる収入	2,000	—
リース債務の返済による支出	—	△965
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229,598	△137,954

現金及び現金同等物に係る換算差額	806	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,117,403	△153,647
現金及び現金同等物の期首残高	2,455,755	980,274
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,338,352	826,627

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

当社グループの事業は、モバイルゲーム事業の他に、ソーシャルマーケティング事業、コンテンツ等の取得及び再生事業がありますが、モバイルゲーム事業以外の事業の重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書上計 上額 (注) 3
	モバイルゲー ム事業	モータースポ ーツ事業				
セグメント売上高	3,033,732	590,735	1,470	3,625,937	—	3,625,937
セグメント利益又は 損失(△)	△48,308	94,278	△4,508	41,461	△114,388	△72,926

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ等の取得及び再生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△114,388千円には、のれん償却額△4,278千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,109千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結累計期間において、主にモータースポーツ事業を営む株式会社トムスを取得し、連結子会社となったことに伴い、報告セグメントとして「モータースポーツ事業」を新たに追加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。